

令和 8 年度 事業計画書(案)

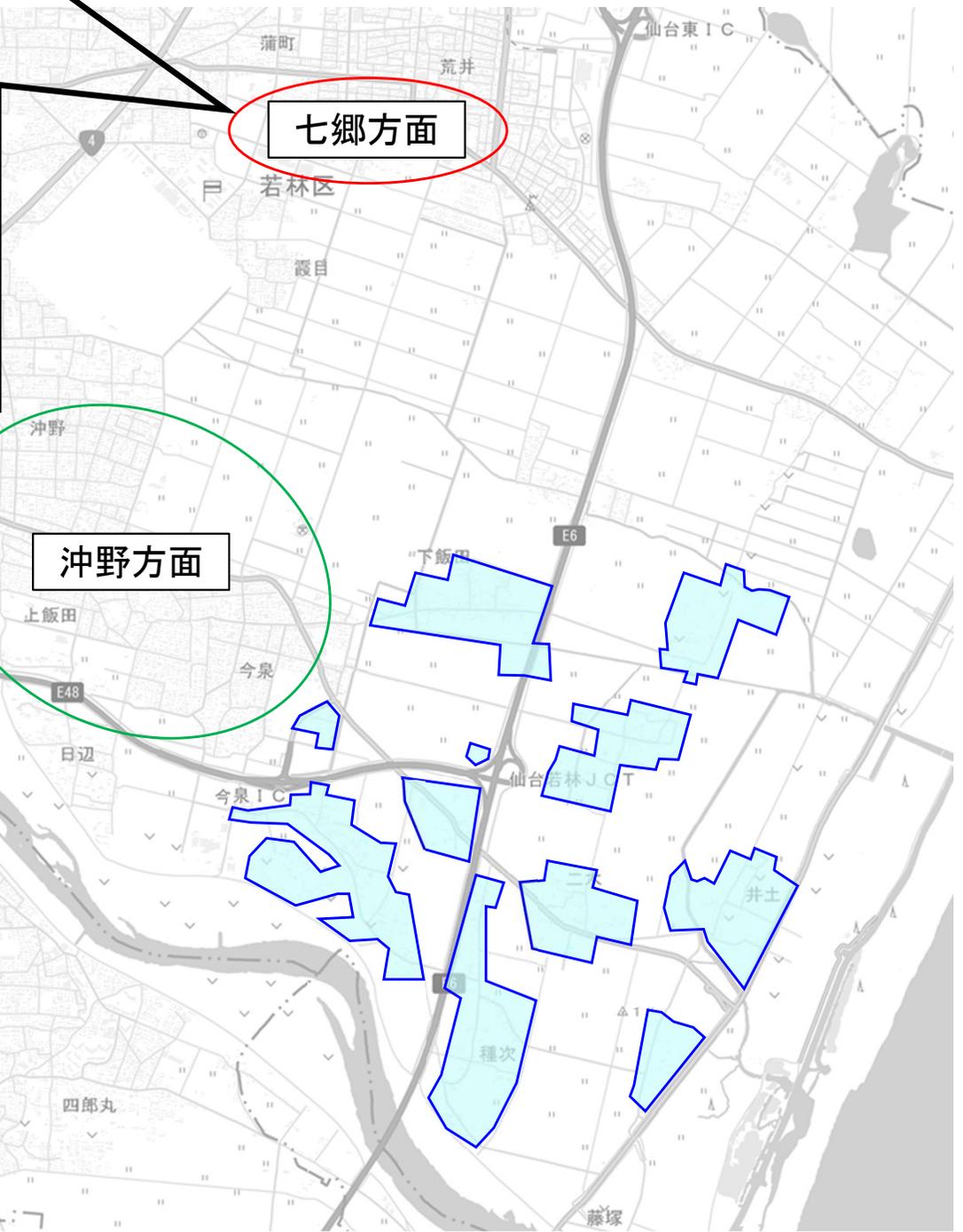
事業の名称	六郷東部地区地域交通実証運行事業（区域運行）	
運営主体	名称	六郷東部地区地域交通検討会
	所在地	仙台市若林区
	代表者	会長 小野 吉信
	説明	<p>六郷東部地区地域交通検討会は、地域の7つの町内会が中心となり、通院・買物等の日常生活に不可欠な地域の足を確保し、地域の課題を解決できる様な地域交通の導入を目指し、乗合タクシーの事業運営のために設立した団体である。</p> <p>定期的に役員が集まり、試験運行の実施や利用促進企画等について検討を行っている。</p>
運行事業者	名称	株式会社キュットライフ
	所在地	仙台市若林区沖野7丁目39-60
	代表者	代表取締役 齋藤 稔
事業の概要	運行形態	乗合タクシー（区域運行）
	運行開始	令和8年4月1日（令和9年3月31日まで）
	事業許可	道路運送法 第21条
	使用車両	小型乗用車（セダン 定員5名） 1台（常用車） 小型乗用車（セダン 定員5名） 4台（予備車）
	運行区域	【別紙1】参照
	運行回数	<p>■沖野方面 平日3日（月・水・金） 5回／日</p> <p>■七郷方面 平日1日（火） 3回／日</p> <p>※土日、祝日、年末年始（12月29日～1月3日）は運休。 また、予約がない場合は運休。</p>
	運行時刻	【別紙2】参照
	利用人数	701人（令和7年4月～11月の実績より想定） （内訳として、沖野方面623人、七郷方面78人）
	運賃設定	<p>■沖野方面</p> <ul style="list-style-type: none"> ・一般運賃（現金） デマンド区域⇄乗降ポイント 500円 （回数券：500円券10枚綴り5,000円） <p>※70歳以上の高齢者及び障害者等の割引制度が適用される場合は、100円とする（回数券：100円券10枚綴り1,000円）</p> <p>※仙台市民以外は70歳以上・障害者等の方においても一般運賃とする。</p> <p>※回数券の利用期限は令和9年3月31日までとする。</p>

	<p>■七郷方面</p> <ul style="list-style-type: none"> ・一般運賃（現金） デマンド区域⇄乗降ポイント 600円 （回数券：600円券10枚綴り6,000円） <p>※70歳以上の高齢者及び障害者等の割引制度が適用される場合は、200円とする（回数券：200円券10枚綴り2,000円）</p> <p>※仙台市民以外は70歳以上・障害者等の方においても一般運賃とする。</p> <p>※回数券の利用期限は令和9年3月31日までとする。</p>																								
	<p>収支計画 【別紙3】参照</p>																								
運行する地域の概要	<p>仙台市若林区六郷東部地区 約700世帯、人口約1,700人（令和7年10月時点）</p>																								
主な利用目的	<ul style="list-style-type: none"> ・近隣の病院・診療所への通院及びスーパーへの買い物等の利用 ・市内中心部等への買物、所用等（東高校入口バス停等にて路線バスに乗り換え） 																								
これまでの経緯等	<ul style="list-style-type: none"> ・令和5年4月 六郷東部地区地域交通検討会設立 ・令和6年9月 試験運行Ⅰ開始（令和7年3月末まで） ・令和7年4月 試験運行Ⅱ開始（令和8年3月末まで） 																								
地域における協議・検討の状況	<p>令和5年4月以降、六郷東部地区にあった交通の検討を進め、令和7年12月23日開催の検討会において、六郷東部地区地域交通実証運行事業に係る事業計画(案)を決定した。</p>																								
事前確認事項	<table border="0"> <tr> <td>令和8年1月8日</td> <td>道路管理者（若林区道路課）</td> <td>事前協議</td> <td>支障なし</td> </tr> <tr> <td>令和8年1月9日</td> <td>宮城交通株式会社</td> <td>情報提供</td> <td></td> </tr> <tr> <td>令和8年1月20日</td> <td>仙台市交通局</td> <td>事前協議</td> <td>支障なし</td> </tr> <tr> <td>令和8年1月22日</td> <td>交通管理者 （宮城県警察本部交通規制課）</td> <td>事前協議</td> <td>支障なし</td> </tr> <tr> <td>令和8年1月22日</td> <td>宮城県タクシー協会</td> <td>事前協議</td> <td>支障なし</td> </tr> <tr> <td>令和8年1月23日</td> <td>国土交通省東北運輸局宮城運輸支局</td> <td>事前協議</td> <td>支障なし</td> </tr> </table>	令和8年1月8日	道路管理者（若林区道路課）	事前協議	支障なし	令和8年1月9日	宮城交通株式会社	情報提供		令和8年1月20日	仙台市交通局	事前協議	支障なし	令和8年1月22日	交通管理者 （宮城県警察本部交通規制課）	事前協議	支障なし	令和8年1月22日	宮城県タクシー協会	事前協議	支障なし	令和8年1月23日	国土交通省東北運輸局宮城運輸支局	事前協議	支障なし
令和8年1月8日	道路管理者（若林区道路課）	事前協議	支障なし																						
令和8年1月9日	宮城交通株式会社	情報提供																							
令和8年1月20日	仙台市交通局	事前協議	支障なし																						
令和8年1月22日	交通管理者 （宮城県警察本部交通規制課）	事前協議	支障なし																						
令和8年1月22日	宮城県タクシー協会	事前協議	支障なし																						
令和8年1月23日	国土交通省東北運輸局宮城運輸支局	事前協議	支障なし																						

運行区域図（区域運行） 沖野方面



運行区域図（区域運行） 七郷方面



【凡例】
 ● 乗降ポイント □ デマンド区域

【備考】
 ・デマンド区域内⇔乗降ポイントの移動のみ利用可能とする
 ・デマンド区域内⇔デマンド区域内の移動での利用は不可とする
 ・乗降ポイント⇔乗降ポイントの移動での利用は不可とする

運行時刻表（区域運行）沖野方面

（上り）	上り1便	上り2便
デマンド区域発	8:30	9:30
乗降ポイント着 （沖野周辺ほか）	9:00	10:00

（下り）	下り1便	下り2便	下り3便
乗降ポイント発 （沖野周辺ほか）	10:30	11:30	12:30
デマンド区域着	11:00	12:00	13:00

※土日、祝日、年末年始（12月29日～1月3日）は運休。
また、予約がない場合は運休。

運行時刻表（区域運行）七郷方面

（上り）	上り1便	上り2便
デマンド区域発	8:30	9:30
乗降ポイント着 （七郷方面）	9:00	10:00

（下り）	下り1便
乗降ポイント発 （七郷方面）	11:00
デマンド区域着	11:30

※土日、祝日、年末年始（12月29日～1月3日）は運休。
また、予約がない場合は運休。

令和8年度 六郷東部地区地域交通実証運行事業(区域運行) 収支計画書

令和8年4月1日から令和9年3月31日まで

収入					
項目	運賃	利用人数	合計	備考	
運賃収入 ・ 沖野方面	一般運賃：現金	500	0	0	■実証運行の想定利用者数 ①現状利用の維持 3.1人/日（試験運行Ⅱの実績より） ②運行内容の見直し等による利用者増（試験運行Ⅰ・Ⅱの実績及びアンケートより） ・ 買い物施設のオープンによる昨年度の施設閉店で減少した買い物利用の需要回復 0.7人/日 ・ 下り3便の時間変更による新規需要 0.5人/日 (①3.1+②1.2)人/日×R8運行設定日数145日≒ <u>623人</u>
	高齢者等運賃：現金	100	623	62,300	
	高齢者等運賃：現金 (元気乗り乗り割引運賃への市補助)	400	623	249,200	
	高齢者等運賃：回数券 (元気乗り乗り割引運賃への市補助)	400	0	0	
	一般運賃：回数券（単位：冊）	0	0	0	
	高齢者等：回数券（単位：冊）	0	0	0	
運賃収入 ・ 七郷方面	一般運賃：現金	600	0	0	■実証運行の想定利用者数 ①現状利用の維持 0.8人/日（試験運行Ⅱの実績より） ②運行内容の見直しによる利用者増（試験運行Ⅰ・Ⅱの実績及びアンケートより） ・ 乗降ポイントの追加による需要増 0.9人/日（沖野方面と同水準の買い物利用を想定） (①0.8+②0.9)人/日×R8運行設定日数46日≒ <u>78人</u>
	高齢者等運賃：現金	200	78	15,600	
	高齢者等運賃：現金 (元気乗り乗り割引運賃への市補助)	400	78	31,200	
	高齢者等運賃：回数券 (元気乗り乗り割引運賃への市補助)	400	0	0	
	一般運賃：回数券（単位：冊）	0	0	0	
	高齢者等：回数券（単位：冊）	0	0	0	
小計			358,300	…①	
補助金	地域交通乗り乗り事業に基づく運行経費の補助		1,669,500		
小計			1,669,500		
合計			2,027,800		

支出					
項目	単価	数量	金額	備考	
運行経費 ・ 沖野方面	運行委託料 通常便	5,200	353	1,835,600	■実証運行の想定運行便数 ①現状利用の維持（試験運行Ⅱの実績より） (187便/97日)×R8運行設定日数145日≒280便 ②運行内容の見直し等による利用者増に伴う運行便数増（試験運行Ⅰ・Ⅱの実績及びアンケートより） 【上り便・下り便】 ・ 買い物利用による需要及び下り3便の新規需要による増73便（利用者増加見込みを考慮） ①280便+②73便=353便
	運行委託料 追走便	5,200	0	0	
運行経費 ・ 七郷方面	運行委託料 通常便	6,200	31	192,200	■実証運行の想定運行便数 ①現状利用の維持（試験運行Ⅱの実績より） (16便/32日)×R8運行設定日数46日=23便 ②運行内容の見直しによる利用者増に伴う運行便数増【上り便・下り便】 ・ 乗降ポイントの追加による需要増 8便（利用者増加見込みを考慮） ①23便+②8便=31便
	運行委託料 追走便	6,200	0	0	
小計			2,027,800	…②	
合計			2,027,800		

収支率(運賃収入/運行経費) 17.7% …①/②

令和 8 年度 事業計画書(案)

事業の名称	六郷東部地区地域交通実証運行事業（路線不定期運行）	
運営主体	名称	六郷東部地区地域交通検討会
	所在地	仙台市若林区
	代表者	会長 小野 吉信
	説明	<p>六郷東部地区地域交通検討会は、地域の7つの町内会が中心となり、通学・通院・買物等の日常生活に不可欠な地域の足を確保し、地域の課題を解決できる様な地域交通の導入を目指し、乗合タクシーの事業運営のために設立した団体である。</p> <p>定期的に役員が集まり、試験運行の実施や利用促進企画等について検討を行っている。</p>
運行事業者	名称	株式会社キュットライフ
	所在地	仙台市若林区沖野7丁目39-60
	代表者	代表取締役 齋藤 稔
事業の概要	運行形態	乗合タクシー（路線不定期運行）
	運行開始	令和8年4月1日（令和9年3月31日まで）
	事業許可	道路運送法 第21条
	使用車両	特定大型乗用車（ワゴン 定員10名）1台（常用車） 小型乗用車（セダン 定員5名）2台（予備車）
	路線	1路線（登校時：三本塚長屋敷バス回転場～六郷小学校） （下校時：六郷小学校～長稱寺） 約23.3km（登校時：約11.2km、下校時：約12.1km） 【別紙4】 路線図のとおり
	停留所数	登校時10箇所、下校時11箇所（1箇所廃止）
	系統数	2系統
	運行時刻	【別紙5】 時刻表のとおり。
	運行回数	平日5日 2回/日 ※土日、祝日及び六郷小学校休校日は運休
	利用人数	1,722人（令和7年4月～11月の実績より想定）
	運賃設定	<ul style="list-style-type: none"> ・一般運賃（現金） 六郷東部地区内循環線（乗降ポイント⇄六郷小学校）、 一般運賃500円、小学生以下運賃150円 （小学生以下回数券：150円券10枚綴り1,500円） （小学生以下定期券：1か月6,000円） <p>※回数券の利用期限は令和9年3月31日までとする。</p> <p>※定期券の利用期限は利用開始日から1か月間とする。</p>

	収支計画	【別紙 6】 参照		
運行する地域の概要	仙台市若林区六郷東部地区 約 700 世帯、人口約 1,700 人（令和 7 年 10 月時点）			
主な利用目的	<ul style="list-style-type: none"> ・小学生の通学時・下校時の利用 ・その他の通院及び買い物の利用 			
これまでの経緯等	<ul style="list-style-type: none"> ・令和 5 年 4 月 六郷東部地区地域交通検討会設立 ・令和 6 年 9 月 試験運行Ⅰ開始（令和 7 年 3 月末まで） ・令和 7 年 4 月 試験運行Ⅱ開始（令和 8 年 3 月末まで） ・令和 7 年 10 月 運賃設定の改定（小学生以下定期券の導入） 			
地域における協議・検討の状況	令和 5 年 4 月以降、六郷東部地区にあった交通の検討を進め、令和 7 年 12 月 23 日開催の検討会において、六郷東部地区地域交通実証運行事業に係る事業計画(案)を決定した。			
事前確認事項	令和 8 年 1 月 8 日 令和 8 年 1 月 9 日 令和 8 年 1 月 20 日 令和 8 年 1 月 22 日 令和 8 年 1 月 22 日 令和 8 年 1 月 23 日	道路管理者（若林区道路課） 宮城交通株式会社 仙台市交通局 交通管理者 （宮城県警察本部交通規制課） 宮城県タクシー協会 国土交通省東北運輸局宮城運輸支局	事前協議 情報提供 事前協議 事前協議 事前協議 事前協議	支障なし 支障なし 支障なし 支障なし 支障なし



【凡例】
● 停留所（六郷小学校及び各町内会の集会所等）
← 運行ルート

運行時刻表（路線不定期運行）

	登校時	下校時（下記のA、B、C、Dのいずれか1便が運行）			
	ダイヤ	ダイヤA ※給食なしの場合 終業時刻 12:15	ダイヤB ※給食までの場合 終業時刻 13:10	ダイヤC ※5校時目までの場合 終業時刻 14:15	ダイヤD ※6校時目までの場合 終業時刻 15:05
六郷小学校	—	12:45	13:40	14:45	15:35
芳賀商店	—	12:48	13:43	14:48	15:38
三本塚長屋敷バス回転場	7:36	12:50	13:45	14:50	15:40
赤沼バス停付近	7:38	12:52	13:47	14:52	15:42
三本塚公会堂	7:40	12:54	13:49	14:54	15:44
東六郷コミュニティ・センター	7:43	12:57	13:52	14:57	15:47
(有)小野カエ務店	7:46	13:00	13:55	15:00	15:50
新興住宅地	7:48	13:02	13:57	15:02	15:52
竹野花バス停付近	7:50	13:04	13:59	15:04	15:54
つかさ製茶	7:54	13:08	14:03	15:08	15:58
長稱寺	7:57	13:11	14:06	15:11	16:01
六郷小学校	8:00	—	—	—	—

※土日、祝日及び六郷小学校休校日は運休。

※道路状況により、到着時間が遅れる可能性がある。

（参考）＜下校時における曜日毎の運行ダイヤについて＞

六郷小学校の各学年の時間割を参考に、曜日ごとの基本ダイヤを下表のとおり設定。

通常の時間割から変更となる場合（例えば全校4時限の日など）については、基本のダイヤから変更する。

【曜日毎の基本ダイヤ】

	月	火	水	木	金
下校時の 基本ダイヤ	ダイヤC (14:45発)	ダイヤD (15:35発)	ダイヤC (14:45発)	ダイヤD (15:35発)	ダイヤD (15:35発)
(参考) 六郷小の時間割	全学年5時限	1年:5時限 2年:5または6時限 3~6年:6時限	全学年5時限	1、2年:5時限 3~6年:6時限	1~3年:5時限 4~6年:6時限

令和8年度 六郷東部地区地域交通実証運行事業(路線不定期運行) 収支計画書

令和8年4月1日から令和9年3月31日まで

収入					
項目	運賃	利用人数	合計	備考	
運賃収入	一般運賃：現金	500	0	0	<p>■実証運行の想定利用者数</p> <p>①現状利用の維持 7.8人/日 (試験運行Ⅱの実績より)</p> <p>②来年度の新入生による新規需要 0.9人/日 (試験運行Ⅱの実績及びアンケートより)</p> <p>(①7.8人/日+②0.9人/日)×R8運行設定日数198日 ≒1,722人</p> <p>■支払い方法別の利用想定 (試験運行Ⅱの実績及びアンケートより)</p> <p>●定期券利用</p> <p>・利用見込み5人(現利用者4人、新規利用者1人) 5人×5か月^{※1}=25か月 ※1. 遠距離通学補助上限は年間5か月</p> <p>●現金利用</p> <p>・利用者の半数が定期券利用者(補助5か月分)と想定。1か月の開校日を20日と仮定すると、年間100日が定期券利用 ⇒5か月間の利用者数：1,722人 × (100/198) ≒ 870人 ⇒うち定期券利用者数：870人 × 50% = 435人 ⇒現金利用者数：1,722人-435人=1,287人</p>
	小学生以下運賃：現金	150	1,287	193,050	
	小学生以下運賃：回数券(単位：冊)	1,500	0	0	
	小学生以下運賃：定期券(単位：月)	6,000	25	150,000	
小計			343,050	…①	

補助金	地域交通乗り乗り事業に基づく運行経費の補助	4,488,150
小計		4,488,150

合計	4,831,200
----	-----------

支出					
項目	単価	数量	金額	備考	
運行経費	運行委託料 通常便 ワゴン	12,200	396	4,831,200	<p>・R8年度の開校日(土曜開校日除く)を基に運行本数を想定 運行便数：198日×2便/日=396便(往復)</p> <p>・基本は、通常便のみでの運行を想定</p>
	運行委託料 追走便 セダン	6,600	0	0	
小計			4,831,200	…②	

合計	4,831,200
----	-----------

収支率(運賃収入/運行経費)	7.1% …①/②
----------------	-----------

令和8年度 六郷東部地区地域交通実証運行事業(区域運行・路線不定期運行) 収支計画書

令和8年4月1日から令和9年3月31日まで

収入					
項目	運賃	利用人数	合計	備考	
運賃収入 ・区域運行 ・沖野方面	一般運賃：現金	500	0	0	■実証運行の想定利用者数 ①現状利用の維持 3.1人/日（試験運行Ⅱの実績より） ②運行内容の見直し等による利用者増 （試験運行Ⅰ・Ⅱの実績及びアンケートより） ・買い物施設のオープンによる昨年度の施設閉店で減少した買い物利用の需要回復 0.7人/日 ・下り3便の時間変更による新規需要 0.5人/日 (①3.1+②1.2)人/日×R8運行設定日数145日≒623人
	高齢者等運賃：現金	100	623	62,300	
	高齢者等運賃：現金 （元気乗り乗り割引運賃への市補助）	400	623	249,200	
	高齢者等運賃：回数券 （元気乗り乗り割引運賃への市補助）	400	0	0	
	一般運賃：回数券（単位：冊）	0	0	0	
	高齢者等：回数券（単位：冊）	0	0	0	
運賃収入 ・区域運行 ・七郷方面	一般運賃：現金	600	0	0	■実証運行の想定利用者数 ①現状利用の維持 0.8人/日（試験運行Ⅱの実績より） ②運行内容の見直しによる利用者増 （試験運行Ⅰ・Ⅱの実績及びアンケートより） ・乗降ポイントの追加による需要増 0.9人/日 （沖野方面と同水準の買い物利用を想定） (①0.8+②0.9)人/日×R8運行設定日数46日≒78人
	高齢者等運賃：現金	200	78	15,600	
	高齢者等運賃：現金 （元気乗り乗り割引運賃への市補助）	400	78	31,200	
	高齢者等運賃：回数券 （元気乗り乗り割引運賃への市補助）	400	0	0	
	一般運賃：回数券（単位：冊）	0	0	0	
	高齢者等：回数券（単位：冊）	0	0	0	
運賃収入 ・路線不定期	一般運賃：現金	500	0	0	■実証運行の想定利用者数 ①現状利用の維持 7.8人/日（試験運行Ⅱの実績より） ②来年度の新入生による新規需要 0.9人/日 （試験運行Ⅱの実績及びアンケートより） (①7.8人/日+②0.9人/日)×R8運行設定日数198日≒1,722人 ■支払い方法別の利用想定（試験運行Ⅱの実績及びアンケートより） ●定期券利用 ・利用見込み5人（現利用者4人、新規利用者1人） 5人×5か月 ^{※1} =25か月 ※1. 遠距離通学補助上限は年間5か月 ●現金利用 ・利用者の半数が定期券利用者（補助5か月分）と想定 1か月の開校日を20日と仮定すると、年間100日が定期券利用 ⇒5か月間の利用者数：1,722人×(100/198)≒870人 ⇒うち定期券利用者数：870人×50%=435人 ⇒現金利用者数：1,722人-435人=1,287人
	小学生以下運賃：現金	150	1,287	193,050	
	小学生以下運賃：回数券（単位：冊）	1,500	0	0	
	小学生以下運賃：定期券（単位：月）	6,000	25	150,000	
小計			701,350	…①	
補助金 ・区域運行	地域交通乗り乗り事業に基づく運行経費の補助		1,669,500		
補助金 ・路線不定期	地域交通乗り乗り事業に基づく運行経費の補助		4,488,150		
小計			6,157,650		
補助金	地域交通乗り乗り事業に基づくその他経費の補助（広報啓発費）		300,000	※初期費用に対する市の補助（上限30万円で実費分）	
小計			300,000		
合計			7,159,000		

支出					
項目	単価	数量	金額	備考	
運行経費 ・区域運行 ・沖野方面	運行委託料 通常便	5,200	353	1,835,600	■実証運行の想定運行便数 ①現状利用の維持（試験運行Ⅱの実績より） （187便/97日）×R8運行設定日数145日≒280便 ②運行内容の見直し等による利用者増に伴う運行便数増 （試験運行Ⅰ・Ⅱの実績及びアンケートより） 【上り便・下り便】 ・買い物利用による需要及び下り3便の新規需要による増 73便 （利用者増加見込みを考慮） ①280便+②73便=353便
	運行委託料 追走便	5,200	0	0	・基本は、通常便のみでの運行を想定
運行経費 ・区域運行 ・七郷方面	運行委託料 通常便	6,200	31	192,200	■実証運行の想定運行便数 ①現状利用の維持（試験運行Ⅱの実績より） （16便/32日）×R8運行設定日数46日=23便 ②運行内容の見直しによる利用者増に伴う運行便数増 【上り便・下り便】 ・乗降ポイントの追加による需要増 8便 （利用者増加見込みを考慮） ①23便+②8便=31便
	運行委託料 追走便	6,200	0	0	・基本は、通常便のみでの運行を想定
運行経費 ・路線不定期	運行委託料 通常便 ワゴン	12,200	396	4,831,200	・R8年度の開校日(土曜開校日除く)を基に運行本数を想定 運行便数：198日×2便/日=396便（往復）
	運行委託料 追走便 セダン	6,600	0	0	・基本は、通常便のみでの運行を想定
小計			6,859,000	…②	
その他の経費	一式（リーフレット・ポスター等作成）	300,000	1	300,000	・広報啓発費等
小計			300,000		
合計			7,159,000		

収支率(運賃収入/運行経費) 10.2% …①/②